

杉並区立高南中学校 年間指導計画・評価計画

国語(1学年) <年間140時間>

担当(石川)

<教科の教育目標>

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。(1)社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。(2)社会生活における人との関わりの中で伝え合力を高め、思考力や想像力を養う。(3)言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

<評価の観点>

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

月	単元	時間	学習内容	観点(番号)	評価規準	評価方法
4月	言葉に出会うために 詩「野原はうたう」 1 学びをひらく 物語「シンシュン」	11時間 (うち書写 2時間)	・国語で何を学ぶかを知る。 ・発想力を豊かにする。 ・文学的な文章を読む観点を知る。 ・観点ごとに作品を読み深める。 ・学んだ知識を活用する。	①②③	・事象や行為、心情を表す語句の量を増すと同時に、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して語や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 ・場面の展開について、描写を基に積極的に捉え、学習課題に沿って自分の意見をもととしている。	授業観察 作品 ワークシート 定期考査 小テスト
5月	情報を的確に聞き取る 情報を整理して書く 漢字1 2 新しい視点で 説明「ダイコンは大きな根？」 説明「ちよつと立ち止まっ	13時間 (うち書写 2時間)	・説明的な文章を読む観点を知る。 ・文章の中心的部分を捉える、 ・段落の役割について考える。 ・文章の構成に着目し、要旨を捉える。 ・文章の構成に着目し、その効果を考える。	①②③	・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。 ・文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。 ・文章中の中心的部分と付加的な部分について積極的に捉え、学習課題に沿って自分の意見をもととしている。	授業観察 作品 ワークシート 定期考査 小テスト
6月	話の構成を工夫しよう 文法1 情報社会を生きる 情報を集めよう 情報を読み取ろう 情報を引用しよう	15時間 (うち書写 2時間)	・言葉のまとまりについて考える。 ・調べ方を考え、情報を集める。 ・情報の適切な引用のしかたを考える。 ・著作権について知る。	①②③	・単語の類別について理解している。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。 ・目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ・引用の仕方や出典の示し方について積極的に理解を深め、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。	授業観察 作品 ワークシート 定期考査 小テスト 発表
7月	3 言葉に立ち止まる 詩・解説「詩の世界」 説明「比喩で広がる言葉の世界」 言葉1	12時間 (うち書写 2時間)	・描かれた情景や表現の効果について話し合う。 ・段落の役割を押さえて読み、内容を捉える。 ・指示する語句について理解する。 ・接続する語句について理解する。	①②③	・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現技法を理解し、使っている。 ・文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。 ・進んで要旨を把握し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。	授業観察 作品 ワークシート 定期考査 小テスト
9月	4 心の動き 物語「大人になれなかった弟たちに……」 小説「星の花が降るころに」 相手の立場に立つ	14時間 (うち書写 2時間)	・描写に着目して登場人物の心情を捉える。 ・題名のもつ意味について考える。 ・表記に込められた作者の意図を考える。 ・場面や描写を結び付けて読む。	①②③	・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現技法を理解し、使っている。 ・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 ・場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈している。 ・登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉えている。 ・進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。	授業観察 作品 ワークシート 定期考査 小テスト
10月	言葉2・漢字2 5 筋道を立てて 記録「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ 根拠を示して説明しよう 話題や展開を捉えて話し合おう	14時間 (うち書写 2時間)	・文章の構成と内容を捉える。 ・論の展開に着目し、その効果を考える。 ・結論に説得力をもたせるために、どのような工夫をしているか、本文の記述や図表などを根拠として、自分の考えを文章にまとめる。	①②③	・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ・文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。 ・文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。	授業観察 作品 ワークシート 小テスト 定期考査 発表
11月	6 いにしへの心にふれる 古文「いろは歌」 解説「古典の世界」 古文「蓬萊の玉の枝」 漢文「今に生きる言葉」	14時間 (うち書写 2時間)	・3年間の古典学習について見直しをもつ。 ・古典文章について、現代の文章との違いを確かめる。 ・故事成語について理解する。	①②③	・音読に必要な文語のきまりや訓詁のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。 ・古典には様々な種類の作品があることを知っている。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かめなものにしている。 ・書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 ・進んで音読し、学習課題にそって描かれている古典の世界を想像しようとしている。	授業観察 作品 ワークシート 定期考査 小テスト・暗唱
12月	7 価値を見出す 意見「『不便』の価値を見つめ直す」 文法2	13時間 (うち書写 3時間)	・筆者の考えを要約する。 ・根拠を明確にして、意見をまとめる。 ・単語の性質について考える。	①②③	・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。 ・目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かめなものにしている。	授業観察 ワークシート 定期考査 小テスト
1月	8 表現を見つめる 小説「少年の日の思い出」	12時間 (うち書写 3時間)	・作品の展開を捉える。 ・心情の変化をまとめる。	①②③	・語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考え、自分の考えを確かめなものにしている。 ・書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 ・文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見直しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。	授業観察 作品 ワークシート 定期考査 小テスト
2月	随筆「随筆二編」 構成や描写を工夫して書く	11時間 (うち書写 2時間)	・語句や表現の工夫に着目する。 ・構成を考える。 ・随筆を書く。	①②③	・事象や行為、心情を表す語句の量を増すと同時に、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して語や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈している。 ・進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	授業観察 ワークシート 作品 定期考査 小テスト
3月	一年間の学びを振り返ろう 言葉3・漢字3・文法3	11時間	・観点を決め、一年間の学習を振り返る。 ・話の構成を考え、作品を作る。	①②③	・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 ・相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 ・目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ・集めた材料を積極的に整理し、今までの学習を生かして要点をまとめ、発表しようとしている。	授業観察 作品 発表 小テスト

<教科の教育目標>

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。(1)社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。(2)社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。(3)言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

<評価の観点>

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

月	単元	時間	学習内容	観点(番号)	評価規準	評価方法
4月	1 広がる学びへ 詩「見えないだけ」 物語「アイスプラネット」 話す聞く「問いを立てながら聞く」	12時間 (うち書写2時間)	・本文に即して、内容が伝わるように読む。 ・登場人物の言動に着目して、人物の関係や心情の変化を捉える。 ・話の要点や順序を整理しながらメモを取る。	①②③	・抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・登場人物の設定や心情の変化を本文に即して捉えている。 ・論理の展開に注意して聞き、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめている。	授業観察 ノート・ワーク 定期考査
5月	古文「枕草子」 多様な方法で情報を集めよう 漢字1 2 多様な視点から 説明「クマゼミ増加の原因を探る」	13時間 (うち書写2時間)	・作者の四季に対するものの見方や感じ方に触れ、自分が感じる四季の趣と比べる。 ・本文を参考に、四季について自分なりの「枕草子」を書く。 ・目的に応じて身近なものを的確に説明する。 ・文章の構成や展開について、理解を深める。 ・文章全体と部分の関係や文章と図表の関係	①②③	・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・情報と情報との関係の様々な表し方を理解し、利用している。 ・積極的に文章と図表などを結び付け、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。	授業観察 ノート・ワーク 定期考査 レポート
6月	話す聞く「魅力的な提案をしよう」 文法1 情報「メディアを比べよう」 情報「メディアの特徴を	14時間 (うち書写2時間)	・話の構成を工夫したり、資料などを使ったりしながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように話す。 ・自立語について理解する。 ・メディアの特徴を捉え、日常の生活への生かし方を考える。	①②③	・自分の考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。 ・自立語の品詞について理解している。 ・観点を明確にして文章を比較し、目的に合ったメディアの選び方を理解しようとしている。	授業観察 ノート・ワーク 定期考査 発表
7月	3 言葉と向き合う 短歌「短歌に親しむ」 「短歌を味わう」 随筆「言葉の力」 言葉1	12時間 (うち書写2時間)	・情景などを表す多様な語句に着目し、語感を磨く。 ・歌の内容について、知識や経験と結び付けて読み深める。 ・類義語・対義語・多義語について理解し、言葉の幅を広げる。	①②③	・短歌の構成や表現の効果について理解している。 ・知識や経験と結び付けて短歌の内容を理解し、自分の考えを深めようとしている。 ・話や文章の中で類義語・対義語などを使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	授業観察 ノート・ワーク 定期考査
9月	4 人間のきずな 小説「盆土産」 随筆「字のない葉書」 書く「表現を工夫して書く」 言葉2・漢字2	14時間 (うち書写2時間)	・場面の状況を踏まえて登場人物の言動の意味を考え、人柄や心情を読み取る。 ・文章の構成や表現から、筆者の思いを考える。 ・敬語の働きを理解し、適切に使う。	①②③	・登場人物の言動の意味などについて考え、内容を解釈している。 ・観点を明確にししながら、文章の構成や表現の効果について考えている。 ・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。	授業観察 ノート・ワーク 定期考査 通信文
10月	5 論理を捉えて 論説「モアイは語る」 書く「根拠の適切さを考えて書く」 話す聞く「立場を尊重して話し合おう」	15時間 (うち書写2時間)	・意見を裏付けるための適切な根拠の在り方について理解する。 ・自分の知識や考えと比べながら、文章の構成や論理の展開を吟味する。 ・適切な根拠を選び、自分の意見が効果的に伝わる文章を書く。 ・お互いの立場を尊重しながら話し合う。	①②③	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ・文章の構成や論理の展開について考えている。 ・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど自分の考えが伝わる文章になるよう工夫している。 ・進んで互いの立場を尊重し、討論しようとしている。	授業観察 ノート・ワーク 定期考査 作文 発表
11月	6 いにしへの心を訪ねる 古文「源氏と平家」「平家物語」 「扇的」 古文「仁和寺にある法師」	15時間 (うち書写2時間)	・作品の特徴を生かして朗読し、古典の世界に親しむ。 ・登場人物の言動の意味を考え、そこに表れたものの見方や考え方を捉える。 ・漢詩に歌われている情景を想像し、いなしへの人の心情を読み味わう。	①②③	・作品の特徴を生かして朗読し、古典の世界に親しんでいる。 ・現代語訳を手掛かりに、古典に表れたものの見方や考え方を理解している。 ・観点を明確にししながら、漢詩の構成や表現の効果について考えている。	授業観察 ノート・ワーク 定期考査 暗誦
12月	7 価値を語る 評論「君は『最後の晩餐』を知っているか」 文法2	13時間 (うち書写3時間)	・文章における具体と抽象の関係を理解する。 ・観点を明確にして文章を比較し、その分析を基に構成や表現の効果を考える。 ・形容詞・形容動詞の活用について理解する。	①②③	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ・観点を明確にして文章を比較し、構成や表現の効果を考えている。 ・用言の活用形と活用の種類を理解している。	授業観察 ノート・ワーク 定期考査
1月	8 表現を見つめる 小説「走れメロス」	11時間 (うち書写3時間)	・抽象的な概念を表す語句が、作品に与える印象を考える。 ・登場人物の人物像や表現の効果などに着目して、作品の魅力を考える。	①②③	・文章中の表現に着目し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・登場人物の言動の意味などについて考え、作品の魅力や文章にまつようとしている。	授業観察 ノート・ワーク 定期考査
2月	書く「構成や展開を工夫して書く」 文法3	11時間 (うち書写2時間)	・場面の展開が明確になるように、構成を工夫する。 ・付属語について、意味・用法を理解する。	①②③	・段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。 ・助詞・助動詞の働きや種類について理解している。	授業観察 ノート・ワーク 定期考査
3月	まとめ「国語の学びを振り返ろう」 言葉3・漢字3	10時間	・読み手のことを考え、構成や表現を工夫し、分かりやすく情報を伝える。 ・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。	①②③	・読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。 ・話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。	授業観察 ノート・ワーク 作品

<教科の教育目標>

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。(1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。(2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

<評価の観点>

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

月	単元	時間	学習内容	観点(番号)	評価規準	評価方法
4月	1 深まる学びへ 詩「世界はうつくしいと」 小説「握手」	9時間	・使用されている語句の意味や表現について考えを深め、自分の意見をもつ。 ・登場人物の言動を表す語句に着目し、その意味を考える。 ・作品の展開を踏まえて人物像を捉え、その生き方について考えを深める。	①②③	・進んで語感を磨き、今までの学習を生かして詩の解釈や朗読をしようとしている。 ・文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたを捉えようとしている。 ・文章に表れているものの見方や生き方について考えを深めている。	授業観察 作品 ワークシート 定期考査 小テスト
5月	漢文「学びて時にこれを習ふ」 書く「文章の種類を選んで書こう」 2 視野を広げて 論説「作られた『物語』を超えて」	11時間	・歴史的背景に注意して「論語」を読み、長く受け継がれてきた名言に触れる。 ・人間の生き方についての孔子の考え方を自分たちと関連付けて考える。 ・文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・文章における具体と抽象の関係を捉える。 ・論説の特性を踏まえて読み、文章の構成や論理の展開を評価する。	①②③	・歴史的背景に注意して古典を読み、その世界に親しんでいる。 ・文章を読んで考えを広げ、人間、社会、自然などについて自分の意見をもっている。 ・目的や意図に応じて、文章の種類を選択している。 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・文章の構成や論理の展開について評価している。	授業観察 作品 ワークシート 定期考査 小テスト 暗唱
6月	話す聞く「説得力のある構成を考えよう」 情報「実用的な文章を読もう」 「報道文を比較して読もう」	11時間 (うち書写2時間)	・根拠となる情報の信頼性を確かめる。 ・社会生活の中から話題を決め、相手を説得できるように、話の構成を工夫する。 ・新聞記事を比較して読み、文章の構成や表現のしかたについて評価する。	①②③	・情報の信頼性の確かめ方を理解している。 ・多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ・文章の構成や表現のしかたについて評価している。	授業観察 ワークシート 定期考査 小テスト 発表
7月	3 言葉とともに 俳句「俳句の可能性」 「俳句を味わう」	8時間 (うち書写2時間)	・俳句の特徴について理解を深める。 ・内容や表現のしかたに着目して、俳句を評価しながら読み深める。	①②③	・俳句の特徴について理解を深めている。 ・内容や表現のしかたについて評価し、それを分かりやすく他者に伝えている。	授業観察 ワークシート 定期考査 小テスト
9月	4 状況の中で 詩「挨拶」 小説「故郷」 話す聞く「聞き上手になろう」 書く「論理の展開を整える」	14時間 (うち書写2時間)	・比喩や象徴的な表現に着目し、文脈の中での意味を考える。 ・小説を批判的に読み、時代や社会の中で生きる人間の姿について考える。 ・相手や場に応じた適切な言葉遣いをする。 ・論理の展開に着目して文章を推敲する。	①②③	・理解したり表現したりするための語句を増やし、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や生き方について考えを深めている。 ・相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。 ・目的や意図に応じた表現になっているかを確かめて文章全体を整えている。	授業観察 作品 ワークシート 定期考査 発表 小テスト
10月	5 自らの考えを 論説「人工知能との未来」 「人間と人工知能と創造性」 書く「多角的に分析して」	11時間 (うち書写2時間)	・情報の信頼性を確かめながら読む。 ・文章を批判的に読み、これからの社会の在り方について自分の意見をもつ。 ・表現のしかたを考えたり資料を引用したりして、説得力のある文章を書く。	①②③	・情報の信頼性の確かめ方を理解している。 ・文章を読んだ上で、人間、社会、自然について自分の意見をもつことができる。 ・表現のしかたを考えたり資料を引用したりして、説得力のある文章を書く。	授業観察 作品 ワークシート 定期考査 小テスト
11月	話す聞く「合意形成に向けて話し合おう」 6 いにしえの心を受け継ぐ 古典「和歌の世界」 古文「君待つと」「夏草」	11時間 (うち書写2時間)	・複数の情報や発言を結び付けて考える。 ・立場や考え方の違いを認め、互いの考えを生かしながら、合意形成に向けて話し合う。 ・詠まれた状況や歴史的背景を理解し、和歌の世界に親しむ。 ・作者のものの見方や感じ方について考える。	①②③	・進行の仕方を工夫したり、互いの発言を生かしたりしながら話し合いをしている。 ・歴史的背景に注意しながら古典の世界に親しんでいる。 ・表現のしかたについて評価しつつ、作者のものの考え方や感じ方に対して意見をもちようとしている。	授業観察 作品 ワークシート 定期考査 発表 小テスト 暗唱
12月	7 価値を生み出す 論説「誰かの代わりに」 書く「情報を読み取って文章を書こう」	10時間 (うち書写2時間)	・抽象的な概念を表す語句の文脈上の意味に注意しながら読む。 ・筆者のものの見方や考え方を捉え、社会や人間について自分の意見をもつ。 ・具体的な情報を基に、自分の考えをまとめる。	①②③	・慣用句や四字熟語について理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることができる。 ・文章を読んで、人間、社会、自然について自分の意見をもつことができる。 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	授業観察 作品 ワークシート 定期考査 小テスト
1月	8 未来へ向かって 随筆「温かいスープ」 詩「わたしを束ねないで」	8時間 (うち書写3時間)	・当時の時代背景や状況を捉えながら読む。 ・国際性について自分の考えをもち、交流する。 ・詩に込められた作者の思いを読み取り、これからの自分たちの生き方や可能性について考える。	①②③	・文章を読んで、人間、社会、自然について自分の意見をもち、今までの学習や経験を生かして考えを伝え合っている。 ・作品の価値や自分の可能性について考えをまとめている。	授業観察 ワークシート 定期考査 小テスト
2月	読書(ノンフィクション) 「エルサルバドルの少女ヘスース」 問題演習	7時間	・心ひかれる部分を話し合い、筆者の撮影した写真や取材の仕方について感じたこと、考えたことをまとめる。	①②③	・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 ・今までの学習を生かして、考えたことをまとめようとしている。	授業観察 ワークシート
3月	3年間の歩みを振り返ろう	5時間	・3年間の学びを振り返りながら自分の考えを深め、構成を工夫してまとめる。 ・発表内容や書いた作品を評価し合い、ものの見方や考え方を深める。	①②③	・観点を明確にして資料を集め、考えたことや整理したことが伝わるよう構成を工夫している。 ・自分の考えと比べたり、体験に引きつけたりしながら評価している。	授業観察 作品